

厚生労働省「造血幹細胞移植医療体制整備事業」
造血幹細胞移植推進拠点病院

第4回造血細胞移植コーディネーターセミナー 骨髄バンクに 行ってみよう

2018年12月15日(土)

廣瀬第2ビル地下会議室(見学会場:日本骨髄バンク)



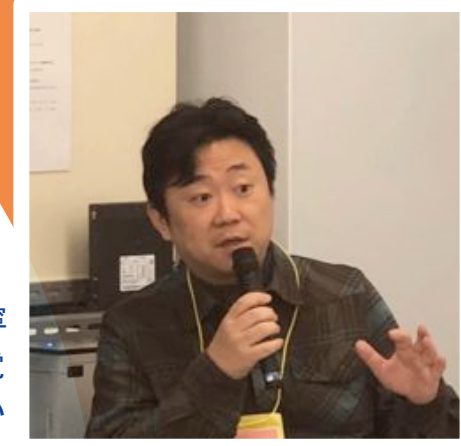
運営事務局: 東海大学医学部附属病院(造血幹細胞移植推進拠点病院)事務局

TEL: 0463-93-1121(内線: 2237) E-mail: hsct@tsc.u-tokai.ac.jp



東海大学医学部附属病院では、
造血幹細胞移植推進拠点病院の事業の一環として、
研修生の受け入れやセミナー開催等の人材育成に取り組んでおります。

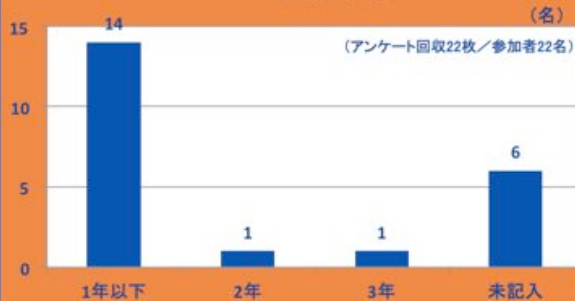
2018年12月15日に、関東甲信越ブロックにおいてHCTC(造血細胞移植
コーディネーター)を目指す方、HCTC初任者を対象に、造血細胞移植のコーディ
ネートをスムーズに行えるよう、骨髄バンクのしくみについて学ぶための見学会を開催し、
22名の参加をいただきました。



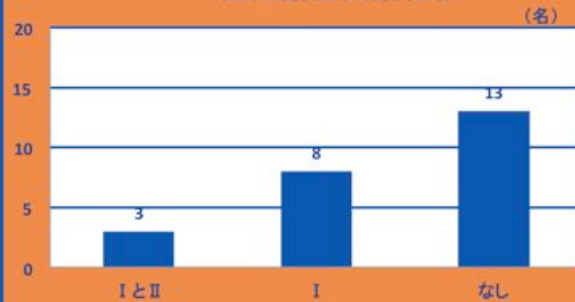
本見学会では、骨髄バンクスタッフから複雑で膨大なコーディネートの実際について丁寧
に教えていただき、「明日から私にできること」を考えるヒントを頂きました。また、普段は電
話やFAXでしか交流のない骨髄バンクスタッフの方々との出会い、オフィスを見学させて頂い
たことで親近感が感じられたようです。

施設によって働く環境が異なるHCTCですが、互いの工夫について情報交換し、
骨髄バンク～HCTC同士の相互理解を深める機会にもなりました。

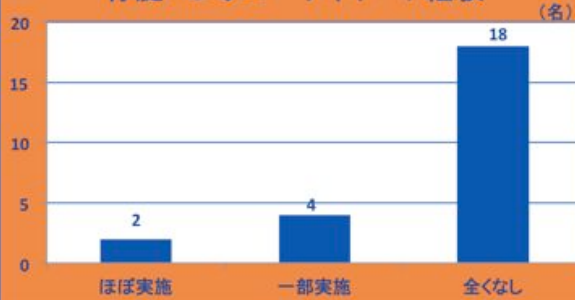
HCTC経験年数



HCTC認定講習受講経験



骨髄バンクコーディネーター経験



プログラム

【講 義】骨髄バンクについて概要

関 由夏 日本骨髄バンク 関東地区事務局

【実務説明】コーディネーターの実際

レシピエント編・ドナー(術前健診～)編

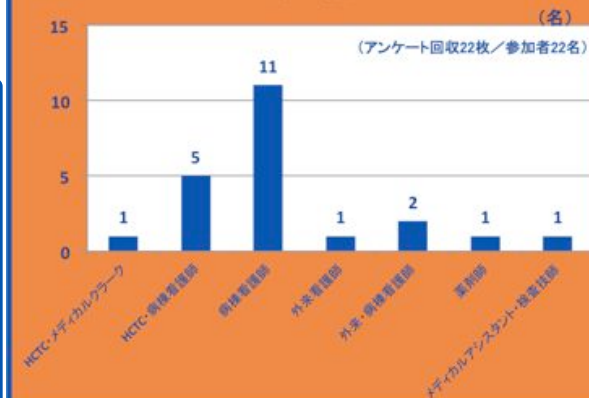
小川みどり 日本骨髄バンク 移植調整部
宮崎美恵 日本骨髄バンク 移植調整部

【日本骨髄バンク見学】

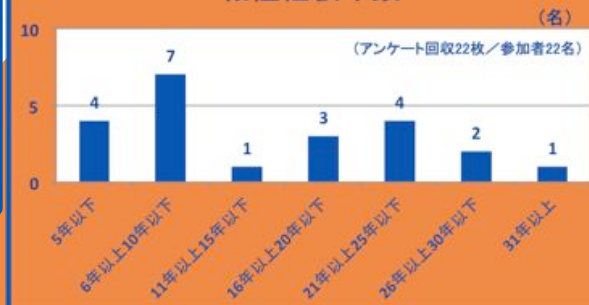
【グループディスカッション】明日から「私」にできること

町田真一郎 東海大学医学部附属病院 血液腫瘍内科
三枝真理 東海大学医学部附属病院
看護部(移植コーディネーター室) 認定HCTC

職種

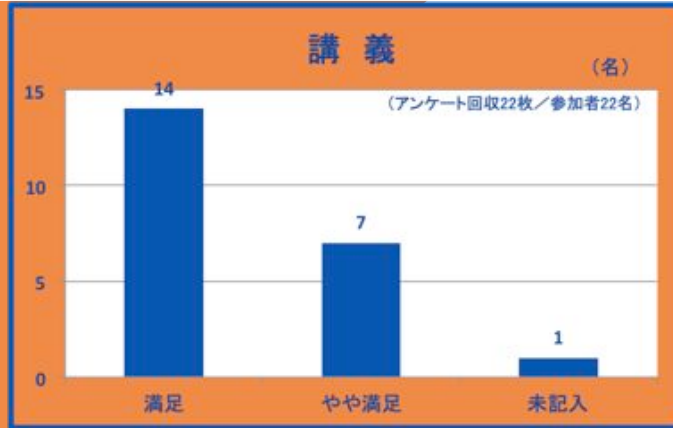


職種経験年数



【講義】骨髄バンクについて

関 由夏（日本骨髄バンク 関東地区事務局）

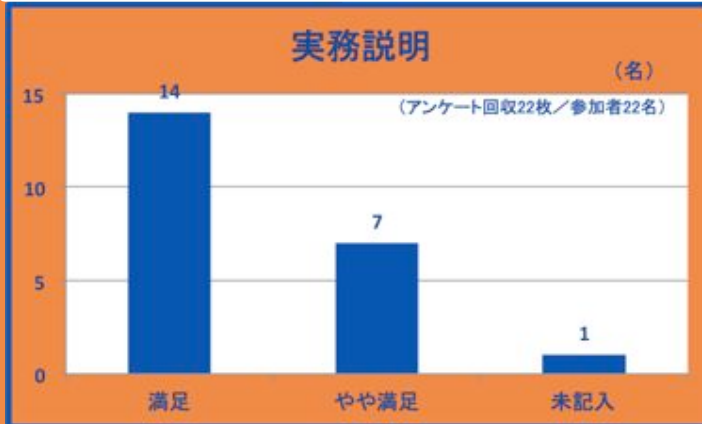


医師より:
費用については患者さんの関心の高いところだと思うので、
これらの情報を活用する意義も高い

【実務説明】コーディネートの実際 レシピエント編・ドナー(術前健診～)編

骨髄バンクと移植／採取病院各々が担う業務をわかりやすくお伝えします

小川みどり(日本骨髄バンク 移植調整部)・宮崎美恵(日本骨髄バンク 移植調整部)



【ドナー編】

医師より:

医師だけで病院全体の日程も考えて調整を考えるのが難しいため、コーディネーターが共に管理してくれるとありがたい

HCTCより:

- ・採取日の調整は、他科(麻酔科など)の学会予定を含めて考える必要がある
- ・レシピエントとドナーがつながる機会は手紙交換しかないと考えたと提出率61%は多くない結果だと感じる。治療が始まると患者に余裕がなくなることが多いため、移植前処置が始まる前に書いてもらうよう声をかけるようにしている
- ・患者に声をかけているが、感謝の気持ちを持ってない患者もいる現状もある。手紙交換の話をして“ピンとこないから”と書かない患者もいるので、難しい
→ステータスレポートを用いてドナーの経過を伝えていってはどうか？

【レシピエント編】

HCTCより:

- ・多くの書類があり、初任者にとっては難しく感じると思う。HCTCとしては、まずコーディネートの流れを理解できると良いと思う
- ・書類の種類が多く、慣れるまでどの書類なのか理解するまで難しく感じる。例えばフローに合わせて書式番号をつけていただくと、どの段階の書類なのか分かりやすくなりありがたいと感じる。後進の指導の際にも書類の説明をしやすい

医師より:

HLA適合検索などは難しいのではないかと思います。医師によってドナー検索をするにあたり何を優先して考えるかは異なるため、医師と連携しながらやっていただきたい

【実務説明】コーディネートの実際 レシピエント編・ドナー（術前健診～）編

骨髄バンクと移植／採取病院各々が担う業務をわかりやすくお伝えします

小川みどり(日本骨髄バンク 移植調整部)・宮崎美恵(日本骨髄バンク 移植調整部)

【採取病院として必要な業務について】

HCTCより:

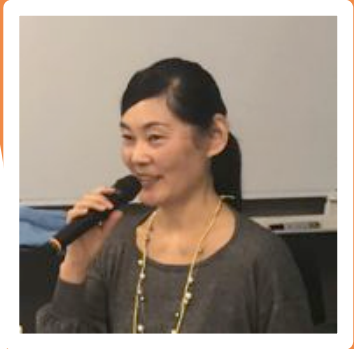
ドナーさんは健康であるが故に、医療面では素人であり、入院生活に慣れていない。退院と言われてもどうしたらいいのか分からず、何時間も待つてしまった事例もある。慣れていないドナーさんが退院まで気持ちよく過ごせるような配慮が必要と考える。

医師より:

内科医師が、手術室に入ることになる。麻酔科との連携なども外科の医師に比べ不慣れなところがあるため、HCTCが協力してくれるとありがたい。

バンクから:

ドナーは入院中、孤独でさみしいと感じることが多い様子である。痛みがあっても遠慮して言えないドナーも多いため、気にかけていただけるとありがたい。無事に採取できたことや感謝の気持ちを伝えられるととても嬉しいと思うので、言葉で伝えてほしい。



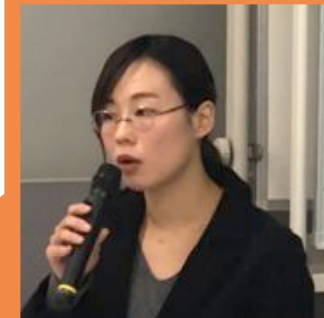
【移植に関する患者負担金について】

バンクから:

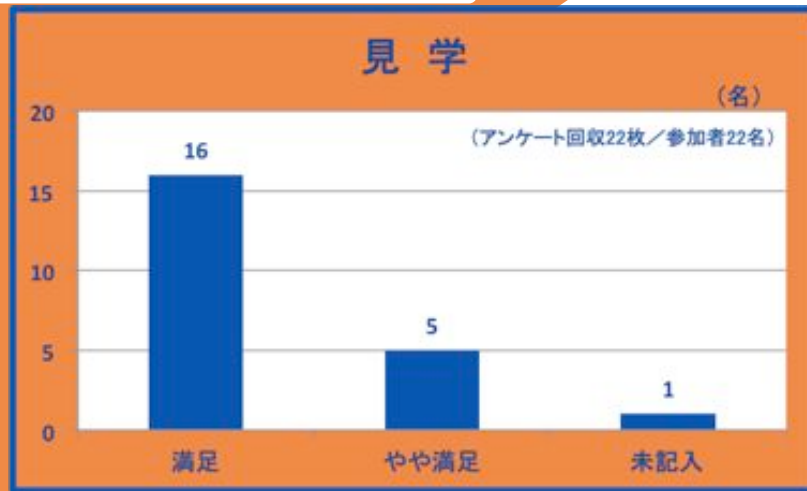
免除申請が提出されれば審査が実施されるため、適応になるか分からない場合は提出いただければと思う

【全体を通しての質疑応答】

- Q. P38負担金請求方法についての用紙の“上記の負担者が本人または知人などで～”の解釈を聞きたい
→患者と連絡がとれないこともあるため患者本人以外に名前をいただきたい
- Q. ドナー選択するためのリスト、HLA型情報に2桁表示(抗原)のドナーと4桁表示(アリル)のドナーがいるのは？
→登録時抗原のみの検査だった場合は、2ケタ表示。その後検査を受け直した場合は、2週間ごとに送っているリストに反映される



日本骨髄バンク見学



- Q. 1 なぜ、書類のやりとりがFAXなのか。メールではダメなのか**
→患者情報が入っているため、セキュリティの観点からメールでのやりとりはしていない。採取日の調整など一部メールでやりとりすることもある
- Q. 2 移植調整部や総務部など部署によって役割が違うことがわかったが、職員の異動などはあるのか**
→異動はある
- Q. 3 AC広告は骨髄バンクが企画しているのか**
→ACジャパンの企画コンペに参加した広告代理店の企画の中から選ばれている



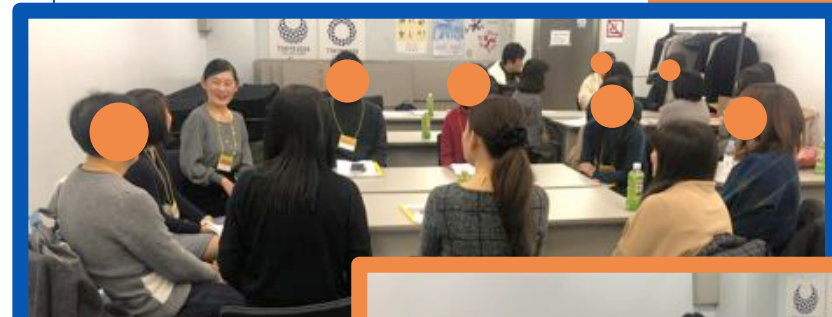
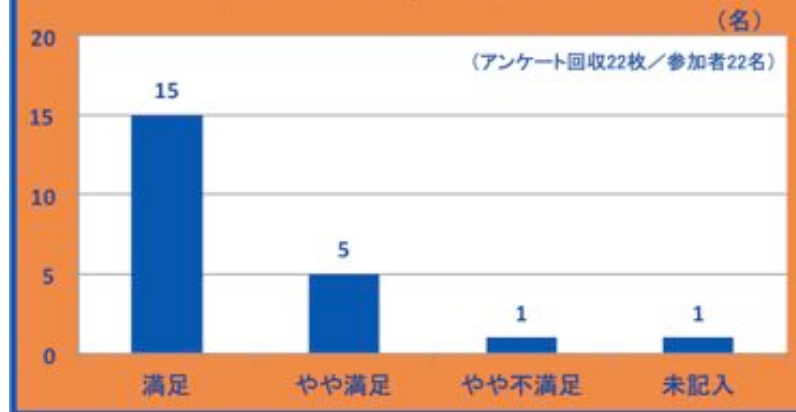
【グループディスカッション】明日から「私」にできること

町田真一郎 東海大学医学部附属病院 血液腫瘍内科

三枝真理 東海大学医学部附属病院看護部(移植コーディネート室) 認定HCTC

- 医師の意識としては、HCTCの必要性はまだうすいと感じる
- 患者にとって血縁ドナーだと流れが把握しやすいが、バンクだと進捗が分かりにくいと感じる。今日、フローに沿った基本的な流れがわかったため、適宜進捗状況を説明できるようにしていきたいと思った
- コーディネートの進捗状況をどこまで患者に伝えるべきか判断に迷うことがある。安易に伝えて医師の説明内容とズレが生じたり、患者がドナーが見つからないと落胆することがないようにしなくてはならないと思うが、その説明の程度に迷う。
→医師と患者の間にたって調整することが必要。医師とコミュニケーションをとり、患者への説明内容を擦り合わせする必要があると考える
- 自家移植しかしていないため、同種移植をするときは転院となる。転院を受け入れる側の施設から、どんなことをサマリーに記載すべきか希望があれば聞きたい
→・コーディネートの進行状況
 - 患者の治療に対する思い、考え方、生活習慣やそれに対する指導内容
 - どれくらい移植治療に対する知識があるのかなど、分かる範囲でサマリーに記載いただくと助かる
- 書類が医局に届いてしまい、レターパックが行方不明になることが多い。医局ではなくHCTC宛に届くようにしてもいいのか
→(骨髄バンクより)
施設によっては、医局ではなく直接HCTC宛に届くようにしている。バンクとしてはどちらでも良い
- 採取した細胞はどれくらい時間をあけても良いのか
→(医師より)
細胞にとっては時間をあけないほど良いが、日本国内程度であればその移動時間は問題ないと思う。臍帯血に関しては自施設では病室内で解凍し、直後に移植できるように工夫している

グループディスカッション



皆さまからのご感想

様々な施設の方のお話が聞けて、とても刺激を受けました。ドナーさんが入院した際、薬剤師としてあまり関わっていきませんでした。今後はドナーさんにも声かけをしていきたいと思いました

とてもよかったです。またぜひおねがいます

骨髄バンクの概要やコーディネートの実際が詳しくきけて良かったです。HCTCとして、できることを少しずつすすめていきたい

実務説明が、もりだくさんだったので理解がおいづかなかった

移植までのプロセスなど具体的すぎて、自分にはとても難しかったです。もっとしっかり基本的なことを学習してまた受講したいと思います

移植の現場で関わることがあってもコーディネートの内容は全く分かっていなかった。多少理解ができたと思います。自分自身でももう少し知識を深めて参加できたらと思います

血液内科病棟で働く看護師に向けたセミナー等があると参加したいです

ディスカッションで意見をいうことが出さなかつた

骨髄バンクとHCTC双方の意見交換にもなる場だと感じました。

他施設の情報やバンクの仕組みなどを知れて大変勉強になりました。自家移植中心の研修もお願いしたいです

骨髄バンクの仕組みを理解できました。今後もセミナーや本を参考に知識を深めていきたいです

もう少し質問やグループディスカッションの時間があれば良いと思います。もっとHCTCの実際の話を知りたいです

骨髄バンクコーディネーターさんとの実際の面談があると、具体的な意見交換ができやすいかと思いました。書類について、具体的に説明いただけてわかりやすかったです

自分では思いつかないことが聞けて、とても良かったです